

# 悔しさがばね 練習に熱入る ～練習を重ね相手を信頼する絆できた～

## 若者コーナー

悔しさがばね  
練習に熱入る

青柳光輝14 中学生

(荒尾市)

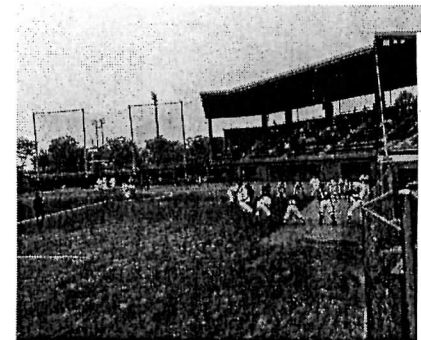
僕たち荒尾三中・四中合同チームは、中学総体で優勝することができ、県大会に出場するようになりました。優勝するまでのことを振り返りました。

一つ上の先輩が引退した後、ずっと四中では僕とキャプテンの森山君の2人で練習してきました。昨年から三中との合同チームになり、初めは森山君のポジションはセカンドでしたが、今年から守備の要となるキャッチャーを急ぎよ務めることになりました。最初はストリートすら

まともに捕れず手を痛めていましたが、前顧問の井本先生の指導のおかげもあり、ストリートはもろろんのこと、変化球も当たり前のように捕れるほど上達してくれました。僕も前は少し制限して投げていましたが、今では安心して全力で投げることができるようになり、チームの勝利数も増えていきました。

最初は、三中のメンバーとは何でも言い合うことはできませんでした。守備中のプレーでエラーをしても誰も何も言わない雰囲気でした。しかしある大会で負けて、僕も含め全員がとてもくやしい思いをしてから練習に熱が入り、チームメイトで何でも言い合っようになりました。

昨年7月に全員で決めた「優勝」という目標を達成できました。県大会では、自分たちのプレーを思う存分したいと思いません。



「全員がとてもくやしい思いをしてから練習に熱が入り、チームメイトで何でも言い合っようになりました。」